

KPGが運営を受託

恩納村 7月に一部開業へ

レジャー施設運営のカトープレジャーグループ（東京、加藤友康社長）の100%子会社KPGホテル&リゾート（福岡市、麻生宏社長）は二十五日、大成建設（東京）が恩納村富着に建設中のホテル「フチャクリゾート沖縄コンド・ホテルズ」の運営を受託したと発表した。七月に一部開業し、二〇一〇年三月に本格営業を始める。分譲型ホテルとして運用し、国内外の長期滞在者の需要掘り起こしを目指す。

ホテルは十二階建て。敷地面積は二万三千八百平方メートル。客室二百四十九のうち、分譲用のコンドミニウム型が百二十八戸。客室は平均約七十平方メートル。レストランや宴会場、スパ（温浴施設）も設置する。ホテル内の施設や周辺地域の観光性向上を図る。コンドミニウム型の部屋

フチャクリゾート沖縄コンド・ホテルズの客室（KPG HOTEL&RESORT提供）



は、大成建設が代理店を通じて企業や個人に販売。購入者（オーナー）が利用し、収入の一部をオーナーに還元する。

同ホテルは当初、新興不動産デベロッパーのゼファー（東京）が建設していたが、同社が〇八年七月に民事再生を申請したため工事は中断していた。現在は大成建設がゼファーから事業を継承し、建設を進めている。

KPGホテル&リゾートは県内で沖縄市の東京第一ホテル・オキナワグランメーブルリゾートも運営している。